

13年間にわたって撮り続けた証言。沖縄ひめゆり学徒の生存者22人。未だ一切を語れぬ元学徒もいる。



忘
れ
た
い
こ
と
を
話
し
て
く
れ
て
あ
り
が
と
う

「長編ドキュメンタリー映画」

い め る り

柴田昌平 監督作品

製作:プロダクション・エイシア 共同製作:財団法人沖縄県女師・一高女ひめゆり同窓会 プロデューサー:大兼久由美、小泉修吉
2007年/日本/カラー/DVCAM・16mm/2時間10分/スタンダード 芸術文化振興基金助成事業 文部科学省選定

映画の完成を待たずに3人の証言者が亡くなっている。

ひとつひとつ私たちは失くしていく。全てを失くす前に叶えたい。

おばあたち、待っててね、なんにも分かっちゃいない私はせめておばあたちが好きだった歌をうたおう。

鮮やかに見えるようだ。壕の中の笑い声。あなたが笑ってくれる歌を届けるからね。

“忘れたいこと”を話してくれてありがとう。

“忘れちゃいけないこと”を話してくれてありがとう。

歌手 **Cocco** (毎日新聞『想い事。』より)

ひめゆり学徒生存者

本村つる

この映画は生き残った者の真実の叫びであり亡くなった友への心の奥底からの鎮魂の思いを綴つたものです。生存者はほとんどが80歳を越えました。いつかは消えてなくなります。でも何年たつてもこの映画はひめゆりの記憶を後世に確かに語り継ぐ大事な財産になるだろうと信じています。



亡き友の遺影と語る元ひめゆり学徒

長く沈黙を保ってきた「ひめゆり学徒」

第2次世界大戦末期、沖縄では住民を巻き込んだ地上戦が展開されました。15歳から19歳の女学生たちも戦場動員され、献身的な看護活動の末、多くが亡くなりました。「ひめゆり学徒隊」です。あまりにむごい体験をへて生きのびた生徒たちの多くは、戦後長く沈黙を保っていました。この映画は、彼女たちの体験にじっくりと耳を傾けたものです。

ひめゆり平和祈念資料館リニューアル

「ひめゆり」とは、沖縄師範学校女子部と第一高等女学校のふたつの学校の愛称です。沖縄戦で学校は消失しました。戦争で失くした友への想いを抱えながら、戦後を生きてきた生存者たちは、やがて「体験を語り平和の大切さを次の世代に伝えることが、亡くなった学友への鎮魂になる」と考えます。全国の同窓生が動き一般からの寄付を募って、戦後40年余り経った1989年に、ひめゆり平和祈念資料館を建設しました。国や県の助成金に頼らず入館料で運営してきましたが、コロナ禍では入館者が激減し厳しい運営を迫られてきました。そんな中、2021年4月には、若い世代にも伝わるようにイラストを多く使った展示にリニューアルオープンしました。沖縄に行く機会があれば、ぜひ資料館を訪ねてみてください。

監督 柴田昌平

出演:ひめゆり学徒の生存者22人 監修:ひめゆり平和祈念資料館 監督:柴田昌平 プロデューサー:大兼久由美、小泉修吉 撮影:澤橋正範、一之瀬正史、川崎哲也、川口慎一郎 音声:吉野泰保子、翁長良、山根剛行 題字:財前謙 音響効果:鈴木利文 音楽演奏・編曲:浦尾画三 MA:門倉徹 ポスター・デザイン:市川千鶴子 イラスト:宮沢かなえ 製作:プロダクション・エイシア 共同製作:財団法人沖縄県女師・一高ひめゆり同窓会 2007年/日本/カラー/DVCAM・16mm/2時間10分/スタンダード 芸術文化振興基金助成事業

私の一生のお願いです。

「ひめゆり」を観てください。

出来れば世界中の人に観てほしいのです。

次の世代に伝えてほしい、

現実を感じてほしい。

心がここに詰まっているからです。——**宮本亜門** (演出家)

ひめゆりの方々の語りにカウンセリングに通底する希望をみました。

大きな傷を負いながらも生きていくという希望です。

——**稻田隆司** (精神科医)

戦争を知らない世代の私が、どうして戦争がいけないのか、

理屈ではなく、肌で感じました。(10代)

記憶は、その人の持つ時間とともにあります。放っておくと、その人とともに消えてしまいます。ひめゆりの記憶を若い世代につなぎたい。

“私から、あなたへ——。”

生存者の言葉を受け取った皆さんとともに伝えています。

(プロデューサー 大兼久由美 & 上映スタッフ)

長編ドキュメンタリー映画

ひめゆり

■自主上映・学校上映の問合せ 映画「ひめゆり」を観る会(プロダクション・エイシア内)

電話 042-497-6975 FAX 042-497-6976

himeyuri@asia-documentary.com http://www.himeyuri.info

ひめゆり

検索

戦争の悲惨さ 命の尊さ 平和の大切さを伝えたい

9/23 [月] 振替休日 10:00~12:10 (開場9:30~)
213:30~15:40

料金(税込) : 大人 995円 / 高校生以下 500円 / 小学生無料(但し保護者同伴)

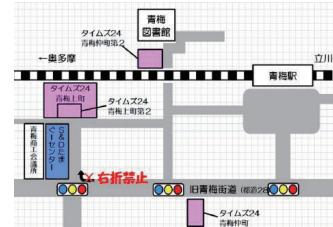
予約・問い合わせ

担当:井上 ki04088465@gmail.com

090-7200-2378

各回先着150名

場所 S&Dたまぐーセンター
JR青梅線「青梅」駅徒歩約5分 ☎0428-20-7150



■後援:青梅市・青梅市教育委員会

■協賛: (株)アド・スクリーンサービス

(アイウオオ商) 炭火ステーキハウス ジョージ

今学司法書士事務所

(株)田中染色工場

青梅ガス(株)

(株)豊富士

数泰工業(株)

(株)中島工務店

(株)三愛